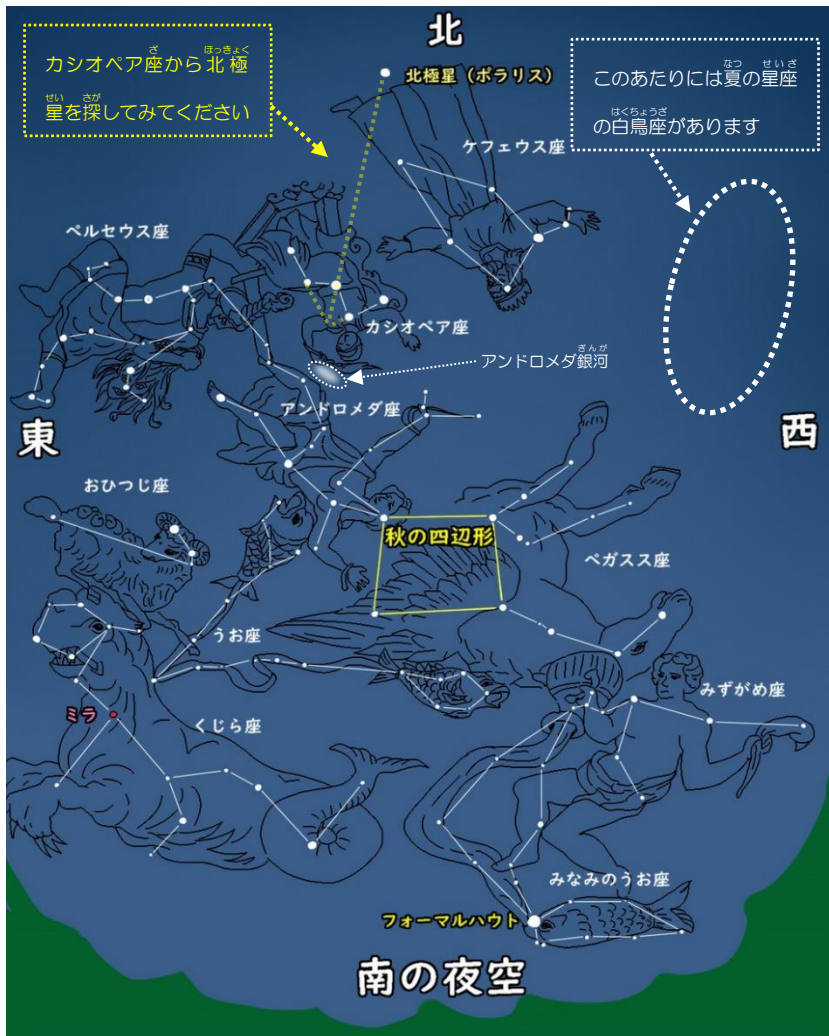


あき よぞら ほし さが 秋の夜空に星を探してみよう



あき しへんけい さ ほっきょくせい さが
秋の四辺形と、カシオペア座から北極星を探してみよう



10月中旬 21時ごろの星空

あき よぞら なつ ふゆ あか
秋の夜空には夏や冬のような明るい星が少なく、一等星はみなみのうお座の「フォーマルハウト」のみです。暗い空ですが、南の空を見上げてみると、きれいに4つ、四角に並んだ星たちを見つけることができます。ペガスス座の体に当たるこの部分は「秋の四辺形」と呼ばれていて、周りには、ギリシャ神話に登場する星座が多く存在し、秋の夜空をにぎやかにしてくれています。

きた そら かたち せいざ
北の空にある「W」の形をした星座「カシオペア座」を見つけたら、北の方角の目印の北極星「ポラリス」を探してみましよう。カシオペア座のWの両端の線を伸ばした交点とWの中心の星を結んだ線を北へ約5倍伸ばした先に、北極星を見つけることができます。

アンドロメダ銀河とは

アンドロメダ座とカシオペア座の間には、白い霧のような大きい「もや」が肉眼でも観察できます。これはアンドロメダ銀河で、数えきれないほどの星々が集まって形成されています。アンドロメダ銀河は私たちの太陽系が属する銀河である天の川銀河の外にある、お隣さんの銀河です。お隣さんと言っても、2つの銀河の間の距離は、230万光年（光の速さで230万年進む距離）も離れています。



アンドロメダ大銀河と伴銀河
©国立天文台





もくせい どせい さが

木星・土星を探してみよう!



2023年の秋の夜空に浮かぶ、2つの明るい星をご紹介します。

1つは木星、もう1つは土星です。2つの星は惑星で、星座の形を作っている星のように自らは光りませんが、太陽の光を反射することで、地球からはとても明るい星に見えています。

望遠鏡で、2つの星の見た目や特徴を見比べてみてください。



望遠鏡で覗いてみよう

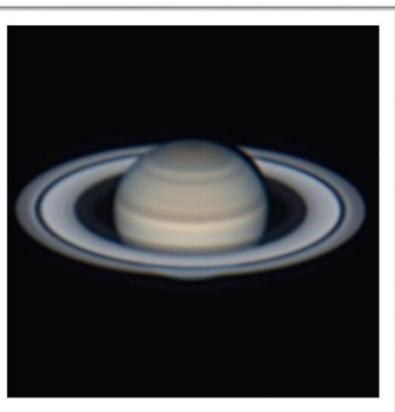
木星についての紹介



国立天文台

- 水素やヘリウム等で構成されるガス惑星です
- 大きさ（直径）は地球の11倍で、太陽系の中で、最も大きい惑星です
- 縞々の模様と、大赤斑（だいせきはん）と呼ばれるだ円形の渦が特徴的です。

土星についての紹介



国立天文台

- 木星と同じく、水素等で構成されるガス惑星です
- 大きさ（直径）は地球の9.5倍で、太陽系の中で、木星の次に大きい惑星です
- 最大の特徴である大きな環は、ほとんどが氷でできています

アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL:078-331-1146 FAX:078-331-1148

竹野自然保護官事務所 TEL:0796-47-0236 FAX:0796-47-0249

